

# グラフィック機材を買収

## SRHD 岡山でM&A成約式

譲渡契約を結んだ森社長（左）と荒木CEO



の印刷を外注から自前に切り替えたり販路を広げたりする。グラフィック機材は1991年設立、資本金2700万円、売上高約2億9千万円（22年6月期）、従業員11人。SRHDの傘下に入って事業を継続させ、印刷技術を生かした記念品製造にも一層注力する。

この日、岡山市内でM&A（企業の合併・買収）の成約式があり、両氏が署名済みの譲渡契約書を交換。荒木氏は「バトンを引き継ぐのは身の引き締まる思い。果敢に挑戦し成長させていく」、森氏は「常識にとらわれず、会社をますます発展させたい」と述べた。日本M&Aセンターは全国で8千件以上の仲介の実績を持つ。成約式は「会社同士の結婚式」として記念のために開いている。

物流や小売りなどを手がけるSRホールディングス（HD、福山市引野町）は21日、印刷機材販売のグラフィック機材（岡山市南区新保）を買収し完全子会社にした。事業多角化を進めるSRHDと、後継者問題を解決したいグラフィック機材の思惑が一致した。

SRHDは1954年設立、資本金1億2千万円、売上高約80億円（2023年3月期）、従業員約350人。買収により、製品へ

取得額は非公表。グラフィック機材の森信之社長は続

投し、会長にはSRHDの荒木栄作CEO（最高経営責任者）が就いた。株式取得と会長就任はいずれも同日付。グラフィック機材の雇用は維持し、社名や業務内容も変わらない。買収は、日本M&Aセンター（東京）が仲介した。

（C）山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。